



Asian Productivity Organization “The APO in the News”

Name of publication: Nikkan Sangyo Shimbun (23 February 2016, Japan)

Page: 4

**APO 日本で省エネ研修開催
15カ国・地域から38人**

アジア生産性機構（APO）は、2月15日～26日の日程で、日本で省エネルギーに関する研修コースを開催している。急速な工業化と生産性拡大が進むアジア諸国で、エネルギーをより賢く、より効率的に使用する取り組みが進んでいる。日本政府の拠出金によって開催される同研修コースは、APOに加盟する15カ国・地域から、公共・民間部門のエネルギー管理、エネルギー効率、エネルギー監査業務に従事する関係者38人が出席している。参加者は省エネルギーを促進し、持続可能な生活様式を普及するためのベストプラクティスとノウハウに関して、日本の知見を学ぶのが目的。

研修コースでは2週間にわたって、省エネルギーセンターの講師を招き、対話式セッションや活動が行われる。エネルギー管理に関する主要テーマのフレスクセッションやクラス討論を経て、参加者は工場見学ツアーでエネルギー効率や省エネ向上に成功した専門家の経験から学習する。

見学先は千葉県のアイエルファイシステム、日立産機システム、三重県の大分製作所とシオンソーラー製作所とシヤープ亀山工場を予定。

省エネルギーに関する講義を聞くAPO研修コースの参加者



(日刊産業新聞 2016年2月23日付 4面)